

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外 Paget 病	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Radiotherapy: an effective treatment for extramammary Paget's disease	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	P C Q 1 2 - 7	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID	1848089	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Clin Oncol (R Coll Radiol)	
	雑誌 ID		
	巻	3	
	号	1	
	ページ	3-5	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1991 年	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Brierley JD	St Luke's Hospital
	その他著者 1	Stockdale AD	同上
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

一次研究の 8 項目	目的	乳房外 Paget 病における放射線療法の有用性を検討する。		
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究		
	セッティング	St Luke's Hospital		
	対象者	6 例の乳房外 Paget 病 (72~84 歳) 2 例男性、4 例女性 部位：会陰部 (2 例)、肛門周囲 (2)、陰囊 (1)、陰茎 (1)		
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)		
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)		
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (5)		
	介入 (要因曝露)	6 例全例で放射線療法が施行された 総線量：30~54 Gy (3~25 分割) 電子線または表在 X 線照射装置		
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分	
		1	局所制御	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		2	生存	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
		3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
		7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()	
	主な結果	6 例中 4 例再発なし (経過観察期間：13~51 例)。 1 例は 2 年後に局所再発。もう 1 例は 13 か月後に照射野辺縁から再発。		
	結論	病変の局所制御のため放射線療法は有用である。		
	備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	鹿間 直人		

	レビューワーコメント	<p>症例によっては1回線量が10 Gyと現在使用することは考えられないような線量が用いられているものもあり、要注意。</p> <p>レベル I V</p> <p>症例集積研究とも考えられるが、詳細に検討されていること、本症の報告が少ないことを勘案して、後ろ向きコホート研究に準じるものと評価した。</p>
--	------------	--